



独立行政法人国立病院機構 東徳島医療センター

〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1

TEL 088-672-1171 FAX 088-672-3809 URL <http://www.etokushima-mc.jp/> e-mail 515sy01@hosp.go.jp

やさしい笑顔と よりそう医療

1月号

vol.150

2018.1.1

明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。

東徳島医療センター院長 木村 秀



着任して1年9カ月が経ち、かなり病院にも慣れましたが、まだまだ院長として十分な舵取りが出来ていないのではと反省しております。

昨年は突然の衆議院選挙があり自民党が圧勝しましたが、思えば第一次安倍内閣の時にできた癌対策基本法のもと癌拠点病院が整備され、第一回のがん診療連携協議会が県立中央病院で開かれ、日赤から代表で出席したのを思い出します。山本議員が自ら患者として訴えた癌対策基本法の成立、与野党を超えた国民のための演説はもう望めないのでしょうか。経営ではなく患者さんのために汗を流せた時期でした。

さて毎年行われる患者満足度調査、問題になるのはいつも外来の長い待ち時間でした。今まで何も対策が出来ていませんでしたが、今年はその対策の一つとして後払い方式を導入しました。きっかけは2月のイノベーション展で、後払い方式のブースを見かけた事でした。病院の負担がほとんどなく会計の負担軽減効果もあり、事務が積極的に導入を進めてくれました。初回は自宅で簡単な書類作成して頂く必要がありますが、その後は外来の受付で「後払い」と言うだけで会計の待ち時間もなく、入院患者は高額な現金を用意する必要もありません。待ち時間を短縮するこの方法は、もっと多くの病院と患者さんに参加して欲しいと思っています。私もアップルウォッチを使い始めてから小銭はほとんど使わなくなり、キャッシュレス時代を堪能しています。

昨年5月から西3病棟60床を包括ケア病棟へ移行

行しました。移行には多くの職員の理解と協力があった実現できたものと感謝しております。包括ケア病棟の大きな利点は入院期間で、従来の病棟は比較的早く退院していただく必要がありました。が、包括ケア病棟になると60日まで入院が可能となり十分な療養が出来るようになりました。又、当院は夜間休日の救急体制が十分でない為、県立中央病院と連携し救急は出来るだけ県立中央病院で診て頂き、診断され安定した時期に包括ケア病棟に紹介して頂くようにしております。これから病院も機能分化が進んでいきます。得意な分野をしっかり担当し、そうでない分野は病診連携で他院にお願いしていくこととなります。

2025年地域医療構想は病院数や地域の病床を適切化する構想ですが、この影響は多くの病院に波及してくると思われ、当然当院も例外ではありません。来年度の医療介護同時改定はどの病院もかなりの影響を受けることでしょう。企業の黒字経営は増えていますが、多くの公的病院は赤字経営に苦しんでいます。公的病院の中でも国立病院機構だけが2年前から公経済負担を課せられ、当院も赤字の原因となりましたが、全職員の努力もあり今年度はかなり改善いたしました。

昨年からは取り組んでいる新しい理念作り。今の理念は額の飾りになってはいないか、実行して初めて患者さんの目に見えるようになります。理念を凝縮したキャッチコピーの作成を院内で結成した「未来を創る会」に依頼し、全職員の90%以上が参加し、選ばれたキャッチコピーは「やさしい笑顔とよりそう医療」でした。私の日赤時代、支えになったのは「人道、博愛」。いかなる時も根幹を共有しなければ組織は機能しません。当院もやっとその第一歩を踏み出した気がします。



和楽器

外科 乾 友浩

皆様、「邦楽」という言葉を聞くとどういったものか、思い浮かべますでしょうか。洋楽に対する邦楽、現在ではJ-POPの意味でよく使われていますが本来は日本の伝統音楽のことを指します。和楽器による演奏や雅楽、能などがそれにあたります。J-POPと区別して純邦楽と呼ばれることもあります。この度、このような寄稿の機会をいただきましたので邦楽の中の和楽器について書かせてもらおうと思います。

和楽器というと、箏、三味線、尺八があり、これらによって演奏される曲は三曲と呼ばれています。その他、太鼓や篠笛、雅楽で使われる笙や篳篥ひちりきなどがあります。今回は三味線、尺八、箏について簡単にですが紹介させていただきます。

三味線は文字通り、3本の弦を撥ではじいて演奏します。阿波踊りでも使われるので見たことはあるかと思いますが。胴の白い部分はなんとイヌやネコの皮を使っているとか。



尺八は、材質は竹で上下に2つの孔と、前面に4つ後ろに1つ孔がある構造です。標準的な長さが一尺八寸(約54cm)であることが名前の由来になっています。天蓋(カゴの様なもの)を被った虚無僧が吹いているイメージですが、法具として扱われていた歴史があります。



箏は、前後にアーチのかかった横に細長い板状で内部が中空の胴に、13本の弦を渡して柱しらを使って音程を調節

し、右手に嵌めた爪(義甲)によって弦をはじいて音を出します。180~190cm程度の大きさがあります。



尺八の発祥は7世紀、大陸から伝来した吹奏楽器を改良したものが始まりといわれています。箏も8世紀、奈良時代に唐から伝来したと伝えられています。一方、三味線の成立は15世紀と比較的最近になります。

このように歴史は深いので、和楽器は古臭いというイメージがあるかもしれませんが、実は和楽器も進化してきています。例えばエレキギターみたいにアンプを接続したエレキ三味線というものが開発されておりプロの方にも使われています。また、実用性のほどは不明ですがサイバー尺八というものも開発されており電気楽器化も進んでいます。エレキ箏もそのうち実用化されるかもしれません。最近では和楽器バンドというロックバンドも有名になってきていまして伝統音楽だけでなく現代の音楽にも和楽器が入る余地は十分にあると思います。普段よく聞く曲も、和楽器の演奏だとまた違った雰囲気興味深いですよ。

徳島は阿波踊りがあって、和楽器も比較的身近にあります。少し興味があるならば始めてみてはいかがでしょうか。

糖尿病教室のごあんない



日時 2018年1月9日(火) 午前11時~午後2時

場所 第2会議室(2階)

内容 『糖尿病関連検査のいろいろ』 臨床検査技師
『寒い冬に多い高血圧！』

血圧を下げる食事とは』 管理栄養士
※試食会(400円/材料費込)
筆記用具をお持ちください



🐾 片手ひとつかみで若返り 🐾 ニャン

あけましておめでとう、今年は猫のぼくにはチョット苦手な成年ニャーゴー。

寒い日が続くけど、あなたは風邪ひいてないニャン。

きょうは血管の若返りと、抗酸化機能に大きなパワーを発揮する、アーモンドを使用した料理を紹介するニャー。

アーモンドに豊富なビタミンEやオレイン酸は、血行促進や善玉コレステロールをキープしたまま、悪玉コレステロールのみを減らすのが特徴ニャン。

そして抗酸化力をさらに高めるには、ビタミンCとあわせてとるのがポイントニャー。



♡アーモンドチキンカツ♡



あだちにはビタミンCが
いっぱいニャー



ぼくはチーズトーストに
ひとつまみが好きニャー

材料（2人分）

・鶏むね肉	120g	☆調味料（下味用）	
・アーモンドダイス	70g	塩・胡椒	少々
・片栗粉・小麦粉	適量	料理酒	大さじ1
・卵	1/2個	にんにくパウダー	少々
・揚げ油	適量	・サラダ菜、ミニトマト、すだち	適量

〈作り方〉

- ① 鶏むね肉は一口大に切り☆調味料で下味をつける。
- ② 片栗粉・小麦粉を混ぜ合わせる。卵は溶いておく。
- ③ 下味をつけた鶏肉に混ぜ合わせた粉、溶き卵、アーモンドダイスの順にまぶし、よくなじませて中温の油でからりときつね色になるまで揚げる。

アーモンドはお菓子に使うと、砂糖やバターなどカロリーオーバーが気になるニャー。料理に利用することで、バリエーションが増え、健康にも貢献できるニャー。

「今年も元気で目標に向かってGo\ (◎o◎) /！」 またね～ニャーゴロー

（栄養管理室 栄養管理室長／堺 千賀子）

重症心身障害児（者）病棟では患者様が絵画や染色、書道などに取り組んでいます。活動では、クレパスやアクリル絵の具などを使用しており、同じ画材を使っても制作される作品は十人十色。患者様が一生懸命に制作した作品はどれも魅力的です。色彩豊かな作品や豪快で躍動感あふれる作品など、作品に込められた想いは観る人に「元気になる力」を与えてくれます。

そこで、この「力」を当院に訪れてくださる方々にも感じていただけるよう、重症心身障害児（者）病棟の患者様の作品を西病棟1階廊下に展示することとなりました。今後も、定期的に作品の入れ替えを行う予定ですので、お時間がありましたら、是非、患者様の作品をご観覧ください。（療育指導室 主任児童指導員／佐々木祐二）



● 看護学校便り ●

宣誓式を 終えて

12月1日、これから基礎看護学実習Ⅰへ臨む37期生の宣誓式が行われました。式典では、来賓の方々やご家族、そして関係者が見守る中、厳かな雰囲気のもと看護の志を受け継ぐよう、一人ずつナイチンゲールから灯火をいただきました。壇上に上がると全員で「誓いの言葉」を唱え、看護の道を志す決意を宣言しました。

学校長からは「誓いの言葉を唱えるだけでなく、実行することが大切である」とお言葉をいただきました。この節目を迎え、学生からは「皆で力を合わせて一つのことを成し遂げることで良い物ができることに気付いた」「今まで育ててくれた家族や指導してくれた先生方にみてもらうことで、看護師になるという気持ちがより一層高まった」という言葉が聞かれました。

これから始まる臨地実習では、たくさんの理想とする看護師に出逢えると思います。学生は「初めての实習は不安や緊張でいっぱいですが、クラスで団結して患者さんに関わっていく中で、自分の中の看護師像を明確なものにしていきたい」と前向きな気持ちで臨んでおります。

臨地で関わってくださる患者様、病院関係者の皆様、どうか学生を温かく見守りお導きいただければと思います。

（看護学校教員／松田 真澄）

12月1日、これから基礎看護学実習Ⅰへ臨む37期生の宣誓式が行われました。

式典では、来賓の方々やご家族、そして関係者が見守る中、厳かな雰囲気のもと看護の志を受け継ぐよう、一人ずつナイチンゲールから灯火をいただきました。

壇上に上がると全員で「誓いの言葉」を唱え、看護の道を志す決意を宣言しました。

学校長からは「誓いの言葉を唱えるだけで



誓いの言葉

私達37期生34名は医療チームの一員として、患者様に最善をつくるためにコミュニケーション能力を高め、より質の高い看護を提供するために学び続けます。

患者様のニーズを満たすために自ら考え気づき行動し、何事にも真摯に取り組む姿勢を持ち続けます。

常に相手の気持ちを考え、心の声に耳を傾ける姿勢をもち、優しい笑顔で患者様の心に寄り添っていきます。

そして倫理に基づき、人間として尊厳および自己決定の権利を尊重するとともに患者様から得た情報を漏洩することなく、プライバシーの保護に努めていきます。

看護の道を志すものとして専門職としての誇りを持ち、自己研鑽に励み患者様に安全で安楽な看護を提供できるように、知識・技術を身につけていくことを誓います。